参考様式第５－２号

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年11月〇日 （12回目）
目標年度	令和１６年度
市町村名 （市町村コード）	四街道市 122289
地域名 （地域内農業集落名）	四街道北部地区 （大日、萱橋、内黒田）

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

１　地域における農業の将来の在り方

（１）　地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	134.81 ha
①　農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	65.56 ha
②　田の面積	21.25 ha
③　畑の面積（果樹、茶等を含む）	113.56 ha
④　区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	14.77 ha
⑤　区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.90 ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考） 遊休農地：3.09ha	

注１：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
　２：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
　３：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
　４：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
　５：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
　６：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（２）　地域農業の現状及び課題

・担い手となる農業者が減少し、高齢化が進んでいる。また、今後の担い手となる若い世代が少なく、後継者もいない農業者がほとんどであるため、さらなる担い手の減少が懸念される。
・近年ヤードが増加してきたことにより、農地が点在している。

（３）　地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

当地区はほとんどが畑地であり、露地野菜や果樹等、様々な作物が栽培されている。しかしながら、まとまった水田地帯もあるため、水稲の作付もされている。
今後高齢化により、離農者が増えていくことが予想されるが、意欲ある農業者への集積を進め、農地を守っていく体制づくりを構築する。

２　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（１）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸し付けを進めるとともに、認定農業者等への農地の集積・集約化を基本とし、支障がない範囲でその他の者により農地利用を行う。

（２）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	15.8　％	将来の目標とする集積率	15.5　％

（３）農用地の集団化（集約化）に関する目標

農地中間管理機構を利用して、可能な範囲で認定農業者や意欲のある農業者への集積を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
担い手への集積を進めるため、原則農地中間管理機構に貸し付ける。
(3)基盤整備事業への取組
必要に応じて今後検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
基本的には地域内の者で耕作していくが、地域外であっても新規就農者等の意欲のある農業者がいる場合には積極的に受け入れる。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農作業の効率を考え、必要に応じて検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

□	①鳥獣被害防止対策	☑	②有機・減農薬・減肥料	□	③スマート農業	□	④畑地化・輸出等	□	⑤果樹等
□	⑥燃料・資源作物等	□	⑦保全・管理等	□	⑧農業用施設	□	⑨耕畜連携等	□	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

②竹炭等を土壌に混入し、CO2削減につながる有機農業を実施していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者(氏名・名称)	現状			10年後(目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	330経営体		131.4 ha	0 ha		132.3 ha	0 ha		

別紙のとおり

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

５ 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 （氏名・名称）	作業内容	対象品目

６ 目標地図（別添のとおり）